

清組 京 掃 働 合

千代田区飯田橋3-9-3 (3237) 9995 1部20円

編 集 教 宣 斉藤 責部 任 長

わが組合の綱領

中央執行委員長

吉田

一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活

二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、 諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。

三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を 建設し、世界平和に貢献せんことを期す。 の徹底的民主化を期す。

新年明けましておめでとうございます。組合員

び申し上げます。 また、東日本大震災から1年10ヶ月が経過しま

り組みとして、女川町からの災害廃棄物の受け入 棄物の処理が進んだ女川町では、漁港と冷蔵庫を れに協力してきました。このことによって災害廃 **活を強いられています方々に、心からお見舞い申** し上げます。 したが、復旧・復興、再生の遅れから、厳しい生 私たちは被災地の復旧・復興、再生に向けた取

整備することができ、念願であった漁業の再開に

地の努力と受け入れる側の信頼を確保するなかで ないことを確認してきました。このように、被災 準が確保されていることを見せていただき、受け は徹底していかなければならないと認識しています。 ニュアルの遵守や管理・保管状況の情報公開など 作業が進められてきていますが、今後も、作業マ 搬・搬入の流れにおいて、適格に安全といえる基 場の代表と現地を視察し、災害廃棄物の選別・搬出・運 の問題などにより、受入れを心配する声もありま 入れにあたる労働者や工場周辺の環境に悪影響が した。よって、実際に災害廃棄物の焼却に携る清掃工 年末に行われた第46回衆議院議員選挙は、自民

繋げることができました。 当時、福島第一原発事故による放射能汚染濃度

の皆様、そしてご家族の皆様におかれましては、 笑顔で新年を迎えられましたことを、 心からお慶

宿

をなくす行動が取り組まれています。政府は、安沖縄では、オスプレイ配備反対と沖縄から基地 年10月16日、米海軍兵2人による集団強姦致傷事 の総意を無視する形で強行しました。一方で、昨全性に疑念の残る飛行機オスプレイの配備を県民

善に取り組みます。 仲間と連帯・共闘し、雇用の確保と労働条件の改 労働者の賃金は低水準化が進んでいます。地域の 規労働者が増え、年収200万円以下の労働者が な問題となっています。私たちの周りでも、非正 する中で世界的に若年層を中心とする失業が深刻 守る取り組みを一層強めなければなりません。 3分の2の議席を確保しました。戦争のできる国 にさせない、右傾化をさせないために憲法9条を 1700万人を超えて増え続けているといわれ、 雇用問題については、世界経済の減速が長期化

だきます。 ともに、組合員・ご家族の皆様のご健勝を祈念申 組合員の皆様の引き続きのご協力をお願いすると 組合としてすべての闘いに全力で取り組みます。 ころへ追い討ちをかけるような攻撃であります。 毎年賃金が引下げられ生活に不安を感じていると 見直し、そして雇用と年金の接続の課題です。これは、 見直しをかけた闘いが始まります。退職一時金の 軍基地をなくす取り組みに連帯します。 県民の痛みは増すばかりであります。沖縄から米 うに、基地の存在からもたらされる負担や被害に 学女児強制わいせつ事件がおきています。このよ 件がおきました。2005年にも、米兵による小 し上げまして年頭にあたっての挨拶とさせていた 組合員の生活と権利を守るため、東京清掃労働 今年は、年明け早々から、組合員の生活設計の

ます。日本維新の会は、自主憲法制定を掲げてい 条の改正し自衛隊を国防軍と位置付けるとしてい る厳しい審判が下されました。自民党は、憲法9 党が過半数を超える議席を確保し、民主党に対す

改憲を掲げる政党が、その手続きに入れる

ノくあめ

墨江江葛足板杉練豊中世渋大目品荒文台

TO THE RESERVE THE

常常特特女青会会会 別 別

任任任執執性年計計計 書行行部部監監監 委 委 記記員員長長査査査組組田東川飾立橋並馬島野谷谷田黒川川京東

千金金綱長塩田萬內西遠平多渡中萩相坂吉洞三鈴杉佐寺恵有横葉澤子川妻田中崎山村田田田辺村原原部田下谷木田久島良田須賀 恵芳 康匡健好寬信 正崇 貴政一 恒和 伸孝 和克貴武一幸子 典修利宏司勝樹晴郎歩明氏誠之幸浩満悦彦武宏介保博明志英志茂司

書 記 副中央執行委員長 副中央執行委員長 副中央執行委員長 音 部 央田長長長長 泉倉石藤張斉森野松坂山桐田貫田波替藤田崎本本崎田 裕二(港) 優三(板橋東) (墨田)

山大纐吉崎和纈田 田功治(工場)

生ごみをメタンガス化して

台東支部は、

No. 5

台東区

サーマルリサイクル以降、 2009年に収集日を整理 パターンがありましたが 統合時は繁華街地区・準

ット・軽小ダンプ4台(不 非常勤職員9名の人員配置 燃)小プ5セット・新大1 両支部を2004年に統合 で清掃事業を行っています。 名、整備職員2名、再任用 し、現在は統括技能長1名、 (内女性3名)、運転職員11 班編成については1班(可 、2班 (併せ) 小プ6セ 小 プ5 年より資源・粗大は委託さ 週2回・不燃月2回として 変更を了承してきました。 苦渋の判断でしたが能率の め一昨年の作業計画交渉で れたものの、可燃・不燃に 街作業については当分の間、 きました。但し、休日繁華 新規採用がない中、2010 現在も作業を行っています。 |業系可燃のみを回収とし を行い資源週1回・可燃 台東区の特色として谷中 いては直営を堅持するた

経過があります

たり、プロジェクトチーム 戸別収集を拡大するにあ

執行部より2

32歳までとバランスのとれ

11%のごみ減が認められた

り実施しています。これは モデル事業を2010年よ 併せ班3回、皮革班2・5 合住宅の生ごみリサイクル (火・木・土の1回分) 集 皮革班については週3回 策としてごみの調査・回収 を実施しています。 積所の美化及び不法投棄対 を搭載し散水作業による集 す。更に毎日、ふれあい指 策として軽小に高圧洗浄機 導班にて山谷地区のし尿対

導班、軽小班です。

軽小でも入れない狭小路地

引き出しを行っていま

小プ2セット、ふれあい指

セット・新大1台、皮革班

地区に於いてはターレット

(通称モートラ) を活用し

ついては可燃班3・5回、

回となっています。

る2011年度より10年間 台東区清掃事業の基とな

年ぶりの新規採用により9名の仲間が加わる

€

●大大大大人 人大大大大人 大大大大人

ないないないかないない

ごみリサイクルの拡大を求 新規事業と捉え集合住宅生 理基本計画」では、 民間収集の仕組みづく 3

地区の泉町会をモデル地区 いては2004年より竜泉 み減量に繋げるものです。 負担の公平性の確保」とな 式になります。これらにつ 資源については現行の集積 戸別収集を順次拡大してご 所を活用しステーション方 より3年間で可燃・不燃の っています。2013年度 」「計画最終年度··費用 の拡大は人員及び機材が必 きました。この事を踏まえ 局と確認し、2005年7 採用が不可欠である事を当 要になり、その為には新規 渉にあたっては、戸別収集 知としました。作業計画交 て2012年12月からの周 周知や実施方法等を学んで な説明を受け、戸別収集の 先行区の北区及び品川区に

区内全域収集回数の統

りました。年齢は21歳から た以来7年ぶりに昨年10月 日付けで9名の新規採用

って班編成を行い、周知に 及び戸別周知を行うにあた しました。 く事を戸別検討部会で確認 ついては班ごとに進めてい 戸別収集の区内全域拡大

寧な周知・作業を行い、直 全組合員が一丸となって丁 の台東区清掃事業の未来を 量及びリサイクル率の向上 営の必要性・優位性を示し 占う重要な鍵となります。 してだけではなく、ごみ減 に繋がるものであり、今後 戸別収集を成功させる

事が直営堅持に繋がる闘い

期があった。年末に一年を

振り返り、反省を胸にして

きかないのかなと思った時

体調を崩してもう無理は

のことを考えてしまう。

どうしても健康、体調面

10月より新規職員の配置

た採用でした。

Y SYLVY WYYY

解答、支部、氏名をご記入のう え、本部教宣部までEメールもし くは郵送等でお寄せください。正 解者の中から抽選で30名の方に景

教育宣伝部メールアドレス

品を差し上げます。

kyousenbu@tokyoseisou.or.jp

締切日 1月25日(金) \times 景品の発送をもって当選発表



いくのだろうか。

また無事に一年が過ぎて

つ年を取る。

新しい年を迎える。また

▲高圧洗浄機による散水作業

▲狭小路地の引き出しはタ

葉を探そ

ウ サ ヤ ハ Ξ ゴ ツ ナ IJ チ 匕 マ ガ ピ ウ = シ 丰 ス ユ ブ ツ ウ ラ ユ セ マ ゲ ジ 9 ス 丰 1 ユ D ガ セ

左図の中に「四季のイベントに関する言葉」 て・よこ・ななめの一直線に読めるよう に隠されています。下記の言葉をすべて探し さい。例として「タナバタ」が囲んであ ,探し終わったら、どの言葉にも使われ なかった文字を集めます。集めた文字を、ヒン トに合った単語になるように並べてください。

四季のイベントに関する言葉

クリスマス セツブン ヒガン ハハノヒ ツユ ジユウゴヤ タナバタ チユウゲン バレンタインデー シヨウガツ キセイ ツキミ ハナミ ウミビラキ

今年の干支の動物の皮を使った楽器

て行ってしまうかもしれな

新しい年を迎えたはずなの

に三が日の酒とともに流れ

う。また一年を振り返った 今年は一つでも良いからみ 時に無事に過ごした喜びと が山積みにされていると思 んなと喜びを分かち合える 今年も様々な問題、課題

う。そしてまた一年、仕事 のんびりした人、旅行に行 み明かした人、様々であろ った人、仲間と集まって飲 に向き合っていく日々が始 家族と迎えた正月、家で る事があるのかなと考え

たって密かに胸に秘めてい

でたばこを吸っているとみ

拶を交わし、喫煙スペース

職場に行って組合員と挨

んな新たな年を迎えるにあ

ものを勝ち取りたい。今年

(賃金部 К • K